

広報紙で振り返る大津町

平成28年
↓
令和8年



「命と暮らしを守る」広報紙の役割
熊本地震と「ほぼ日刊広報おおつ」

平成28年4月、熊本地震が大津町を襲い、町内各地で大きな被害が発生しました。繰り返される余震やライフラインの寸断により、多くの町民が不安な日々を余儀なくされ、町全体が混乱と緊張に包まれました。そのような状況の中、広報紙は被災した人々をつなぐ架け橋として、避難所情報や生活支援、各種手続きなど、暮らしに欠かせない情報を届け続けました。刻々と変化する状況の中で正確な情報を迅速に発信し、町民一人ひとりの安心につなげるとともに、地域が支え合い、復興へ向かうための大切な役割を担いました。広報紙は単なる情報伝達の手段ではなく、町民の不安に寄り添いながら「命と暮らしを守る情報源」として機能し、困難な時期を乗り越えるための大きな支えとなったのです。



ほぼ日刊広報おおつ

震災直後の混乱期には、緊急でお知らせする必要がある情報を届けるため、避難所を中心に「ほぼ日刊広報おおつ」を発行しました。給水や支援物資、り災証明書の発行など、生活に直結する情報を迅速に提供し、震災から1カ月の節目を迎えた No.23 をもって休止、通常の広報紙制作へと移行しました。



▲2016年5月号

平成28年(2016年)

4月 熊本地震発生

平成31年/令和元年(2019年)
新元号「令和」へ

平成31年/令和元年(2019年)



▲2016年6月号

復興の歩みと「人の絆」 ファインダー越しに見る助け合い

震災からの復興は、町民同士の助け合いなしには語ることはできません。平成28年4月の熊本地震により、大津町も大きな被害を受けましたが、多くの町民が支え合い、励まし合いながら、一歩ずつ復興への道を歩んできました。広報紙では、道路や公共施設の復旧状況など復興に向けた歩みを伝えるとともに、地域で力を合わせる住民の姿や、ボランティア活動に取り組む人々の思いを数多く紹介してきました。また、復興イベントや地域行事で見せる笑顔、再びにぎわいを取り戻していくまちの風景を写真とともに届けることで、希望の灯を町全体で分かち合ってきました。困難な状況の中で生まれた支え合いの心、そして試練を乗り越える中でより強く結ばれた人と人とのつながり。その「人の絆」を映し出す紙面は、復興の記録であると同時に、大津町が持つ強さと優しさを未来へ伝える大切な財産となっています。

▲2019年4月号

2020年6月号



広報紙が紡ぐ、コロナ禍の絆と希望

経験したことのないパンデミックは、住民一人ひとりの支え合いなしには乗り越えることができません。新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちのまちもこれまで経験したことのない困難に直面しましたが、多くの人々が互いを気遣い、励まし合いながら、新しい生活様式への適応と感染症対策の道を歩んできました。

広報紙では、刻々と変わる感染状況や、ワクチン接種の進捗など公衆衛生に関する情報発信をしてきました。また、オンラインで開催された地域イベントの様子、マスク越しに見せる笑顔、そして再び少しずつ活気を取り戻していくまちの風景を写真とともに届けることで、決して失われない希望の光を地域全体で分かち合ってきました。

先の見えない状況の中で深まった「思いやりの心」、そして直接会うことが難しい中でも、新しい形でより強く結ばれた人と人との「つながり」。その「絆」を映し出す広報紙の紙面は、この時代を生き抜いた記録であると同時に、私たちのまちが持つ強さと優しさを未来へ伝える大切な財産となっています。

▲2020年5月号

令和2年(2020年)

令和3年(2021年)
東京オリンピック・パラリンピック
開催

令和7年(2025年)
大阪・関西万博開催

令和5年(2023年)



▲2023年7月号

未来志向のまちづくり:現在からその先へ 半導体関連企業進出と新たな地域づくり

震災からの復興を遂げた大津町は今、町村合併70周年という大きな節目を迎え、その歩みを振り返るとともに、さらなる未来へ向けて新たな一歩を踏み出しています。近年では、半導体関連企業の進出により、町を取り巻く環境が大きく変化し、新たな時代に向けたまちづくりが進められています。こうしたまちの変化や未来への展望は、広報紙においても重要なテーマとして取り上げられてきました。新たな産業による地域活性化への期待や、国際色豊かな地域社会の形成、次世代を担う子どもたちの成長を支える施策など、未来志向の特集が紙面を彩っています。70年の歴史の中で培われた地域の絆と誇りをもとに、大津町は今、新たな可能性に満ちた未来へと歩みを進めています。広報紙はこれからも、その変化の瞬間や町民の思いを記録しながら、未来へ向かう大津町の姿を伝え続けていきます。

▲2023年11月号



進化する大津町



まとめ

70周年の集大成、そして未来へ3号連続でお届けしてきた「広報紙で振り返る大津町」その紙面には、大津町の歴史だけでなく、時代を懸命に生きた人々の暮らしや思いが刻まれています。創刊当初の白黒印刷の時代から、カラー化、そしてデジタル技術の活用へ。広報紙は時代とともにその姿を変えながらも、常に町民の皆さんの身近な存在として、大津町の歩みを記録し続けてきました。町の発展を伝える喜びの日も、災害や困難に直面した試練の日も、広報紙はその時々々の出来事と人々の声を紙面に残してきました。誕生と発展の時代(昭和31年〜昭和60年)、インフラ充実と躍進の時代(昭和61年〜平成27年)、そして熊本地震からの復興と絆の時代(平成28年〜令和8年)。それぞれの時代には異なる課題や出来事がありました。その根底には、より良いまちを築こうとする町民の皆さんの力強い歩みがありました。広報紙の役割もまた、時代とともに広がり続けています。しかし、形や手法がどれほど変わろうとも、町の出来事や人々の営み、そして地域に息づく思いを記録し、未来へ伝えていくという使命は変わりません。これまで築き上げてきた歴史と絆を大切にしながら、大津町はこれからも変化を恐れず、新たな挑戦を重ねていきます。そして広報紙もまた、町民の皆さんとともに歩み続けます。一人ひとりの笑顔や挑戦、地域の出来事を記録しながら、未来へ向かう大津町の物語を紡ぎ続けていきます。

平成28年～令和8年8月までの主な出来事

元号	西暦	月	出来事
平成28年	2016年	4月	熊本地震
平成29年	2017年	4月	おおつ図書館が「子供の読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰
		11月	役場庁舎解体
令和元年	2019年	7月	人口35,000人突破
令和2年	2020年	8月	JR豊肥本線全線運転再開
		10月	国道57号現道・北側復旧ルート開通
令和3年	2021年	1月	からいもくん像完成
			町長選挙 金田英樹氏当選
		5月	新型コロナウイルスワクチン接種開始
		6月	役場新庁舎落成
		7月	役場新庁舎開庁
令和4年	2022年	1月	熊本復興プロジェクト「ソコ像」完成
		11月	道の駅大津にオートバイ神社を設立
令和5年	2023年	5月	新型コロナウイルス感染症の分類「5類」に引き下げ
		8月	「大津町水力発電所」完成
令和6年	2024年	3月	江藤家住宅熊本地震復旧工事竣工
令和8年	2026年	8月	大津町町村合併70周年を迎える